

サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者
基礎研修

「サービス提供プロセスの
管理に関する演習」

社会福祉法人あゆみ園

相談支援専門員 大橋 進

令和元年 9月19日・20日

1. 演習のねらい、内容

演習のねらい

- ・サービス提供プロセス全般の流れ(ケアマネジメントサイクル)について、事例を活用しながら検証する。
- ・アセスメント、目標設定、個別支援計画の作成、モニタリングや評価による支援方針の変更などに関する具体的な技術を習得する。
- ・サービス管理責任者の業務と役割を学ぶ。

演習の内容

- 演習1「サービス提供プロセスの実際：アセスメントと個別支援計画の作成」
 - (1)アセスメントの実施と課題の整理
 - (2)時間軸に配慮した到達目標を含む個別支援計画の作成

- 演習2「サービス提供プロセスの実際：中間評価と計画修正」
 - (1)サービス利用後の変更要因を再アセスメント
 - (2)個別支援会議の実施(ロールプレイ①)
 - (3)個別支援計画の修正(モニタリング)

- 演習3「サービス内容のチェックとマネジメントの実際」
 - (1)サービス担当者会議の実施(ロールプレイ②)
 - (2)サービス管理責任者の姿勢の確認
 - (3)サービス管理責任者の業務、役割について再確認

演習1: サービス提供プロセスの実際 アセスメントと個別支援計画の作成

《獲得目標》

アセスメントや個別支援計画の作成に関する知識と技術を習得する。

《内 容》

- (1) アセスメントの実施と課題の整理
- (2) 時間軸に配慮した到達目標を含む個別支援計画の作成

事例の概要

菅野美穂子さん(51歳) 統合失調症 精神保健福祉手帳2級 区分2

平成31年1月より入院中。入院前は兄と二人で暮らしていたが、兄も病気に倒れ、退院後に二人で生活が続けることがむずかしい状況。

そのため退院後の生活を支援していくために7月より相談支援専門員介入。これまで担当者会議、グループホームの見学などを経て、「これからの生活のことを考えたらグループホームでの生活が今のわたしにはいいかもしれない」という思いになり、不安はあるものの利用の方向となった。

**あなたは、美穂子さんがあたらしい生活をはじめ
グループホーム、『ホーム青空』のサービス管理責任者です。**

ニーズ整理のポイント

1. 利用者の意向に沿っているか
2. 人生の一部としてとらえているか
3. 全体像をとらえているか
4. 多面的にとらえているか
5. 複数の立場、職種の見解が反映されているか
6. スtrenグスアセスメントの視点(いいところ探し)

計画作成のポイント

- サービス等利用計画に基づき個別支援計画を作る
- 本人のニーズがきちんと反映されているか？支援者側の押し付けになっていないか？
- 本人を中心とした計画を、本人と一緒に作っていく過程こそが大切
 - 自分の支援計画をラフスケッチする力をつける
 - 自分の人生に責任を持つという視点(エンパワメントにつながる)
- 本人が分かりやすい言葉で書く
- 支援内容を抽象的な言葉でごまかさない(安定した生活、楽しい暮らし、薬がちゃんと飲めるように・・・etc)
- 具体的な目標、期間を設定する。数量化出来るように努める。
 - 定期的に評価を行う
- 小さなステップを踏むような計画になっているか
- 本人ができることは、やらない(ストレングスをつぶさない)



演習2: サービス提供プロセスの実際 中間評価と計画修正

《獲得目標》

サービス開始後、本人の新たなニーズを把握・整理し、個別支援会議を運営するプロセスと個別支援計画の修正に関する知識と技術を習得する。

《内 容》

- (1) サービス利用後の変更要因を再アセスメント
- (2) 個別支援会議の実施(ロールプレイ①)
- (3) 個別支援計画の修正(モニタリング)

演習3: サービス提供プロセスの実際

サービス管理責任者の役割と業務の検討

《獲得目標》

- ・ サービス担当者会議(ロールプレイ)を通じて、サービス管理責任者の視点、あり方について学ぶ。
- ・ これまでの演習を通じて、サービス提供プロセスの管理、サービスの質の確保、関係機関との連携(地域自立支援協議会への参画)等、サービス管理責任者の業務と役割について再確認する。

《内 容》

- (1) サービス担当者会議の実施(ロールプレイ②)
- (2) サービス管理責任者の姿勢の確認
- (3) 職員への指導助言や関係機関との連携(地域自立支援協議会への参画)等、サービス管理責任者の業務、役割について再確認